



ゴミ削減は負担増の前に行政努力を！

党議員団は7月16日の「向日市廃棄物減量推進審議会」の答申がごみ指定袋の導入を求めていることについて質問しました。「平成11年度の市民

ひとりあたりのごみの量は730グラムでしたが、平成29年度には524グラムと減少している。」答申には「展開検査を行った可燃ごみ494袋の中に空き缶やペットボトルや他の自治体の越境ごみなど事業系ごみが混入している」とあります。この事例から透明もしくは半透明の指定袋を導入することは問題と指摘し「市民のこれまでのごみ減量の努力をどう見ているのか。資源ごみの回収日数を増やしたり、朝7時～9時の回収時間を延長したり、古紙類などの町内での普及など改善もできる。指定袋の有料化はやめて頂きたい」と質問しました。しかし、市は「市場価格の平均価格程度でご購入いただければ市民の負担を最小限に抑えることができる」と答弁しました。

森本東部の地区計画が決定

森本東部地区開発にともなう地区計画が決定されました。地区計画によると、都市計画道路牛ヶ瀬勝竜寺線の延伸を中心に、寺戸川の川筋を変更し地形を整え土地利用の効率を高めるとされています。地区計画決定にともない、牛ヶ瀬勝竜寺線、市道寺戸森本幹線2号、市道3064号の整備費うち5億4千万円が補正予算として支出される予定です。また、地区計画決定をうけ、日本電産による80m規模の第2本社ビルや研究施設などの開発計画が市に提出される予定となっています。

**JR東口は230億円！
2倍！**

JR向日町駅東口開設計画の事業規模が、まちづくり特別委員会で公表されました。橋上駅舎、東西自由通路(約51億円)、駅前広場(約12億円)、駅ビル(約167億円)を含めた事業計画の予想総額は230億円とし、この事業に伴う市の負担は現段階では約32億円と想定されています。当初の計画より事業費が2倍近くに膨れ上がっています。今後、駅東側の地権者で構成されたまちづくり協議会との交渉を重ね、開発で得られる利益から駅建設費用の一部負担を要請していくとのことです。しかし、予想や想定の部分が多く情報が市民に明らかにされているとは言えない状況です。党議員団は、今後も、市民負担を含む情報公開を求めていきます。(右の写真は市の公表したプラン)



コミュニティバスは、20年に及ぶ市民運動が実り、10月1日から運行が始まりました。南北二つのコースで走ります。北コースは9人乗り都タクシーが南コースは35人乗りの阪急バスが運行します。コミュニティーバスの運行により一部空白地域の解消がされます。しかし、反対する声もあります。改善のための一方通行による課題や南コースの上植野地域では阪急バスの減便により不便になるとの声など課題はまだあります。しながら、もっと便利な市民の足として充実していきましょう。

「ミニユートイバス、市内を走る！」

救護施設は元の場所に建設を！

市民の皆さんより、救護施設建設の現状はどのようになっているのか、との問い合わせが多くあります。党議員団は、「市民の不安に市長は率先して市民に直接答えるべき」と質問しました。市長は、「京都市は法律に則っているので言う立場はない」との姿勢です。救護施設入所者の立場にたてば居住条件だけでなく、社会復帰のために建設予定地はふさわしくない場所です。現在施設のある五条に建設すべきです。引き続き市民の皆さんのが届けます

幼保無償化で需要と待機児対策は？

幼稚教育・保育の無償化は、子育て世代に大変喜ばれるものであり賛成ですが、消費税を財源にする事には反対です。無償化に伴う保育需要拡大が予想されますが、その対策について質問しました。市は「9月1日現在の待機児童は、64人である。来年4月に100人の民間保育園を開設、出生数転入件数が落ち着いてきている事から年度当初の待機児童は解消されると考えている」と答弁しました。

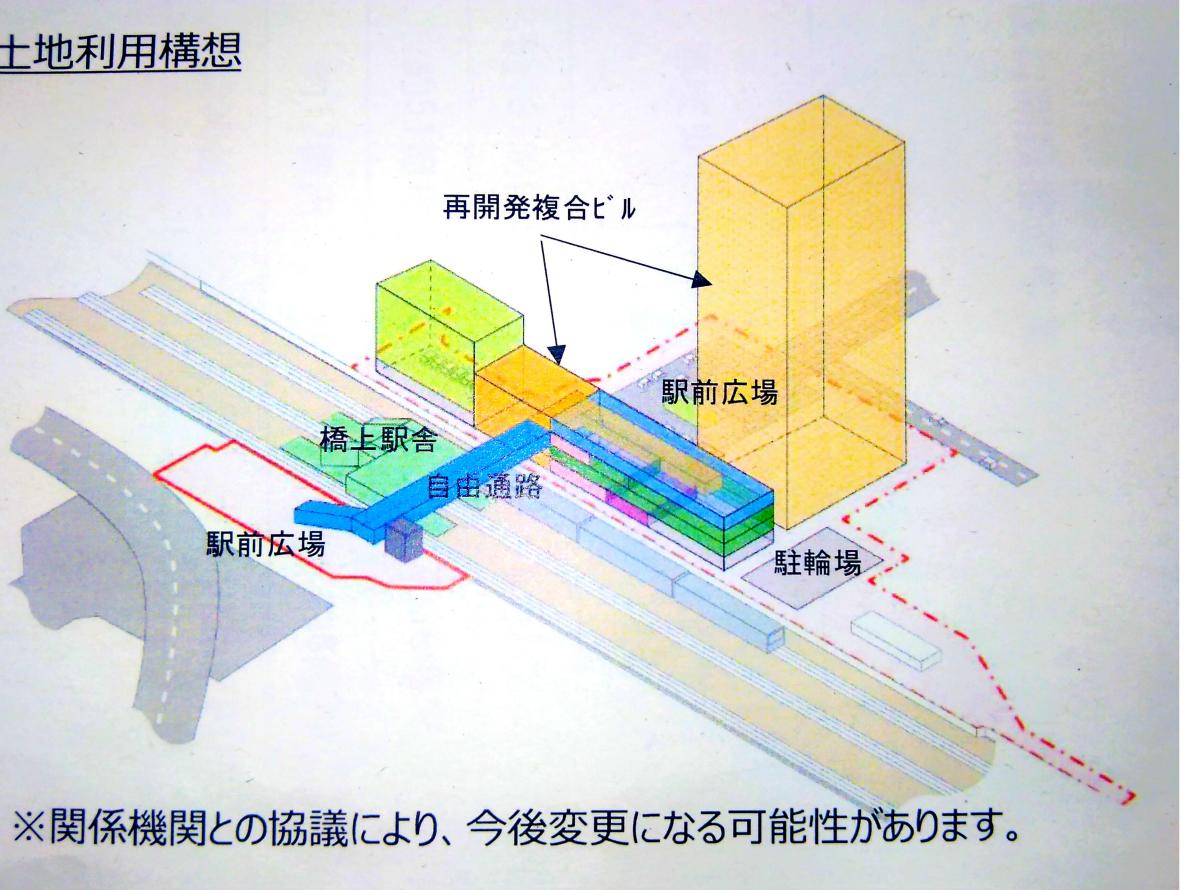


市水道料金値下げすると市長は答弁！

8月22日、京都市内で「京都府営水道事業経営審議会」が開催され、「来年度からの建設負担料金(現在1トンあたり66円)を55円にする」「使用料金(現在1トンあたり20円を28円にする)3浄水場(乙訓系・木津系宇治系)の料金を統一する案が出されました。党議員団は「市長は6月の



土地利用構想



※関係機関との協議により、今後変更になる可能性があります。

松山元市議の質問に対して府の料金改定後において水道料金引き下げについて提案すると言われたが、その考えに変わりはない。また、水道広域化と民営化をやめて頂きたいがどうか」と質問しました。

市長は「市民の負担を少しでも軽減できるよう市の府営水道料金が下がった場合は市の水道料金の引き下げについて議会に提案させて頂きたいと考えている。広域化はメリットがあると思ないので考えていない」と答弁しました。